

○議長（茅沼隆文）

皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は12名です。定足数に達しておりますので、これより平成25年開成町議会第1回定例会3月会議（第4日目）の会議を開きます。

午前 9時00分 開議

○議長（茅沼隆文）

日程第1、議案第25号 平成25年度開成町一般会計予算から、日程第7、議案第31号 平成25年度開成町水道事業会計予算までを、会議規則第36条に基づき一括議題といたします。本件に関しては、予算特別委員会で審査を終了しておりますので、委員長より報告を求めます。

予算特別委員会委員長、鈴木庄一君。

○11番（鈴木庄市）

それでは、ご報告申し上げます。予算特別委員会に付託されました、議案第25号 平成25年度開成町一般会計予算から、議案第31号 平成25年度水道事業会計予算までについて、平成25年3月7日及び3月8日にかけて、各会計から予算案の詳細説明を受け、一昨日の3月12日及び昨日の13日に質疑を行い、その後、委員間討議を経て、同3月13日に委員会として採決を行っております。この間、委員の皆様におかれましては、慎重審議ありがとうございました。

それでは、結果について、ご報告いたします。

まず、議案第25号 平成25年度開成町一般会計予算については、賛成多数で可決いたしました。

なお、この一般会計予算につきましては、議案第25号 平成25年度開成町一般会計予算に対する付帯決議案が、小林哲雄委員と菊川敬人委員連名で提出され、採決の結果、当予算特別委員会では、議案第25号 平成25年度開成町一般会計予算に対する付帯決議として、次のとおり決議いたしました。

付帯決議を読み上げます。議案第25号 平成25年度開成町一般会計予算に対する付帯決議。

平成25年開成町一般会計予算の執行にあたり、下記の事項について慎重に対応することを強く求める。

記、（1）新エネルギー利活用推進事業費について。平成24年度予算にて行った検討結果をもとに小水力発電施設の実施設計を行うとのことだが、最終の検討結果が議会に示されていない。については、予算の執行に当たっては、次の点を議会に明示したうえで実施されたい。

①、流量調査等の結果報告。②、施設設置場所及び内容とその選定理由。③、小水力発電施設の今後の利活用の方向性と具体的な方策。

（2）グリーンリサイクルセンター利用促進事業について。機能回復のために、熟成槽を建設をすることだが、投資効果の最大化を図り経営状況の改善が図られるように努められたい。

以上、決議する。

平成25年3月13日、平成25年度予算特別委員会。

続きまして、議案第26号 平成25年度開成町国民健康保険特別会計予算については、賛成多数で可決いたしました。

続く、議案第27号 平成25年度開成町下水道事業特別会計予算については、全員賛成で可決いたしました。

続く、議案第28号 平成25年度開成町介護保険事業特別会計予算については、全員賛成で可決いたしました。

続く、議案第29号 平成25年度開成町給食事業特別会計予算については、全員賛成で可決いたしました。

続く、議案第30号 平成25年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算についても、全員賛成で可決いたしました。

続く、議案第31号 平成25年度開成町水道事業会計予算については、全員賛成で可決いたしました。

以上で報告を終わります。

○議長（茅沼隆文）

予算特別委員会委員長の報告が終わりました。

お諮りします。本件については、質疑を省略したいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

ご異議なしと認めます。本一括議題につきましては、議事の都合により、分割して討論及び採決をとり行います。

初めに議案第25号 平成25年度開成町一般会計予算について、討論、採決を行います。

それでは、討論をどうぞ。

高橋久志君。

○2番（高橋久志）

2番議員、高橋久志です。

私は、平成25年度開成町一般会計予算に反対討論をいたします。

日本の景気は下げどまりつつあるが、デフレからの脱却はしていない状況である。国民に消費税増税や、社会保障改悪を押しつける。社会保障税一体改革は承服できない。国民の所得を増やし、日本の経済を健全な成長に乗せる改革が求められている。

町政は、自治体本来の役割である、住民の安全、健康及び福祉を守ることを実践すべきである。

4月から国民健康保険の1世帯当たり年額2万3,861円、14.1%の値上げは暮らしを圧迫することになる。

町の行財政運営が厳しい状況に置かれている中で、組合施行の南部地区土地区画整理事業の開発に膨大な財政支援のあり方が問われる。身の丈にあった行財政運営で、町民生活優先のまちづくりに切り替えることや、町民の暮らしを守る施策、町独自の住民負担軽減策への予算対応策は不十分であり、納得できない。町の一般会計予算総額は50億7,000万円余で、前年対比0.8%減となっている。歳入の町税は26億円余で、前年対比0.6%の微増になっている。個人町民税は、9億7,000万円余、法人町民税は、前年程度の1億3,000万円余、固定資産税は13億6,000万円、財政力指数が、単年度推計で1.0以下になるため、国からの地方交付税は3億円を見込んでいる。

財源不足を補うために、財政調整基金の取り崩し等で約1億5,000万円、地方債、いわゆる借金でございますが、臨時財政対策債3億2,000万円と、南部地区土地区画整理支援事業3,150万円、福祉会館改修事業債5,400万円、開成小学校の大規模改修事業債の1億円と合わせて5億5,960万円を発行しています。

開成小学校の3期の大規模改修事業のための地方債発行等については理解をしておりますが、財政調整基金5億6,800万円あるわけでございますが、これらを小児医療費助成制度の拡充や、暮らしを守る施策などや、地方債の発行を減らすために活用すべきである。

平成25年度末の借金残高は、一般会計で57億2,000万円余、下水道31億5,000万円余、水道企業会計11億9,000万円余、全会計では100億7,000万円余の多額な借金となっている。これは当初予算総額87億2,000万円を上回る借金となっており、町民一人当たりでは約60万円となるわけでございます。

組合施行の南部地区土地区画整理事業に対して、上下水道事業等に借金までをしての膨大な財政支援は見直しすべきである。平成25年度は1億円を支援、組合施行の事業に対する町の支援合計では約5億円としている。

事業面積の26%を土地所有している大企業の小田急電鉄株式会社からの財政支援はないし、町から社会的責任を果たしてもらうための財政支援の要望すらしていない。

小田原市消防本部に事務委託する消防の広域化と職員の地域手当5%から3%に削減を決めたことには反対である。開成町グリーンリサイクルセンターで剪定枝の堆肥を熟成させる熟成槽を整備する事業費は、県の指摘を受けたため、本来有すべき機能を回復するためのものであり、町の指導責任は問われるものであると考える。

PFI方式による事業契約の見直しや、1市5町の広域行政でのごみの減量化、支援化に向けた事業の展開を提言する。

学校給食は、教育の一環であり、安全でおいしい給食提供や、災害時の対応面等で開成南小学校の学校給食調理員の民間委託を継続しており、反対である。

重度障がい者年金制度、福祉タクシー助成や、自動車燃料費助成の所得制限をしており、障がい者福祉の後退である。所得制限の撤廃を求める。

子育て支援に関する施策が出されていますが、安心して子育てしやすいまちづくりのために、小児医療費助成制度は、所得制限なしで小学校就学前から小学校6年生まで拡充を求める。拡充には約3,000万円を投入すれば可能であり、就学前は、県下33の中で3自治体のみであり、自治体における格差が生じている。

開成町地域防災計画に基づく防災減災対策の強化、実態に即した防災訓練の実施や、集中豪雨による水害対策などを要望する。

75歳以上を対象にした、高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の助成や、ブロック塀倒壊予防策のため、ブロック塀の除去工事費用に対する補助等については評価しますが、住民本位の行財政運営や、町民生活優先の施策が不十分と申し上げて、反対討論といたします。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

ほかにございませんか。

吉田敏郎君。

○3番（吉田敏郎）

3番、吉田敏郎でございます。私は、平成25年度開成町一般会計予算について、賛成の立場から討論を行います。

平成25年度一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ50億7,351万1,000円となり、前年度当初比4,178万6,000円、0.6%の減額となりました。このうち歳入を見ますと、町税が26億88万8,000円、歳入総額の51.3%で、前年より1,584万2,000円、0.6%増えております。

固定資産税も2,406万5,000円の増となっておりますが、基金の取り崩しや、前年度より1億1,600万円との減とはなったとはいえ、町債に依存せざるを得ず、大変厳しい財政となっております。企業誘致や、企業訪問等を積極的にし、法人町民税のアップにご尽力をしていただきたいと思います。

一方、歳出では、3年目となる教育環境の向上のための開成小学校大規模改修工事や、平成26年度の完了に向けた南部地区土地区画整理事業への支援、松ノ木河原及び中家村公園の整備、福社会館の空調設備更新などの継続する大型ハード事業を進めながらも、第五次総合計画の初年度に当たり、町民主体の自治と協働を進めるための、協働推進計画の策定や、さらなる子育て支援策としてのファミリーサポートセンターの開設準備、農業振興策としての開成ブランド創出事業、健康で長生きできる町を目指すための総合型地域スポーツクラブ推進事業などの新規施策も積極的に盛り込んでおり、総合計画の八つの基本目標に沿った、バランスのとれた予算編成がなされており、精力的にまちづくりを進めていこうとする姿勢は大いに評価するものであります。

また、重度障がい者医療費助成事業を初めとする高齢者施策や小児医療費助成事

業などの子育て世代へのきめ細やかな施策は、開成町の発展に貢献していただきました諸先輩や、世代を背負う若者たちへの惜しみない投資と考えます。これからもこうした施策を展開し、開成町の発展のためにご尽力いただきたいと思います。

ごみの処理施設を持たない開成町にとって、ごみの再資源化は重要な事業であります。グリーンリサイクルセンターについては、今回の投資、熟成槽の新設を機に、事業計画の再点検、策定のし直しを求めたいと思います。

放課後児童対策事業に対しては、小学校6年生までの利用、放課後子ども教室推進事業においては、実施日の回数を増やす検討をしていただければと思います。

さて、東日本大震災以降、日本経済が自粛ムードの中、停滞ぎみでありましたが、昨年末の政権交代以後から、回復基調に展開をしてまいりました。日銀による金融緩和政策の発表から日経平均株価が上昇し、さらに外国為替市場でも、円高修正の動きが加わり、輸出産業を主体とした日本経済全般にわたり、明るい材料が出てきております。

しかしながら、まだまだ安定した社会経済情勢の構築には、時間を要するものと思われまます。

我が町の財政状況も決して安定したものではなく、社会経済情勢の変化によっては、大いに影響を受けるものと思われまますので、さらなる行政改革を推進するとともに、財政の効率化を図り、少ない費用で最大の効果を得るように、予算の執行については、最大限の配慮を要望して、賛成討論といたします。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

次に、反対討論の方、いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

それでは、ほかに討論ございますか。

山田貴弘君。

○8番（山田貴弘）

8番、山田貴弘です。それでは、平成25年度一般会計当初予算については、賛成という立場で討論をいたしたいと思ひます。

経済情勢により、大きな税収増が期待できない中での予算編成では、政権交代による国、県の負担金及び補助金等の充実に期待を寄せたのではないのでしょうか。

しかし、期待にそぐわない中で、自主財源確保策に努めた、充実した、メリ張りのある予算編成が示されたところであり、全体的に満足しているところでもあります。

平成25年度は、町民参加によって作成した第五次総合計画のスタート期にあり、計画を尊重した予算編成は、議会はもちろんのこと、町民の皆様を含めた中で、町の展望について期待しているのではないのでしょうか。

歳入では、町の大きな施策を実行するために、重要な法人税によるウエートが非常に高いと考えます。前年対比102.8%と微増の上り幅であります、号別の

法人件数を見ると、下がる現状が伺えます。税務窓口課による企業の現状把握だけではなく、町長みずからのトップセールスの充実により、企業との情報交換を密にして、商工業の発展及び推進を図るよう要望いたします。

歳出では、新たな事業として、地域の人材育成を目標としたリーダー研修会の開催、協働のあり方や、協働を具体化する取り組み方法等を検討し、開成町協働推進計画を策定する。ただいま述べた事業は自助、共助、公助の役割を明確化及び充実するものと評価いたします。

また、未来を担う子どもたちのために、各所管からの施策の提案がなされています。子どもたちについては、ファミリーサポートセンターの開設準備を進める。親子を含めた事業内容は、子育てに不安を持つ当事者にとっては、強力な支援になるのではないかと思うところであります。

しかし、充実した事業に重複した事業があってはならないので、内容を慎重に精査し、各課が連携をとり、取り組むよう求めます。

環境に配備するまちづくりでは、エネルギー対策として、小水力発電装置の設置に向けた実施計画の予算措置がされています。また、住宅用太陽光発電施設の設置工事費補助については、県補助が廃止されたものの、町補助を存続させ、重要事項と方針を示されたことは、大変評価するところであります。

ごみの減量化、再資源化の推進については、開成町グリーンリサイクルセンターのあるべき姿を明確にし、本来あるべき機能の回復に向けた予算措置がなされている。将来における循環型社会の構築には、時間がかかるものと考えるところであり、ごみ置き場にごみを置けば、片づけてくれるという、長い間の習慣は、簡単に住民に理解が得られないと考えるところもありますので、地道な周知活動に努め、説明責任を果たした中で理解を求めることを要望いたします。

最後に、平成25年度開成町当初予算提案概要説明で町長が述べた、日本一元気な開成町、日本一きれいな開成町、日本一健康な開成町の三つのキーワードの、日本一小さくても活力ある、見本となる開成町を一緒につくり上げていきたいと思えます。

以上、平成25年度一般会計予算を高く評価し、賛成討論といたします。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

そのほかございますか。反対討論ありますか、賛成。

菊川敬人君。

○1番（菊川敬人）

1番、菊川です。議案第25号 平成25年度一般会計予算案に対し、原案に賛成の立場から討論いたします。

昨年末に政権交代があり、アベノミクスによる経済回復の兆しがうかがわれかけていますが、依然として不透明な状況であります。

景気が低迷し続けている中、町では、個人町民税の減収となる見込みの厳しい財

政状況でありながら予算編成をされたことは、想像以上に大変であったことと考えます。

社会保障と税の一体改革や、地方交付税の引き締めが厳しい環境の中、人と人とのきずなを大切にし、日本一のまちづくりへ向け、町民が安心・安全に生活し、希望が持てる元気なまちづくりを目指す町長決意が感じられます。予算の詳細については、事業ごとに精査され、着実に積み上げられた予算であることと評価をいたします。一般会計予算の総額は50億7,351万1,000円で、前年度対比0.8%のマイナスであり、個人町民税は2,254万6,000円の減であります、法人町民税は前年並みと見込んでおります。

このような状況の中でも、町の特徴を出すための施策とし、新エネルギー利活用事業においては、環境問題への対策として、CO₂削減に向けた小水力発電導入実施設計や太陽光発電システムのシステム設置費に対する町単独補助事業の継続を行うこと。自転車事故から子どもたちを守るための自転車運転免許講習を行うなど、継続した施策となっております。

また、子育て支援事業では、仕事と子育ての両立を支援するために、延長保育や、一時預かり保育、のびのび子どもルームなどの充実を図るために、保育施設補助を行うこととしております。

特に昨年から始まりました放課後子ども教室は、2年目とし、さらなる充実が図られるものと期待するものであります。

そのほか、学校教育関係においては、子どもたちが安心して学校生活が図られるよう、さまざまな施設、施策、環境が取り入れられております。

3期目となる開成小学校改修工事においては、積極的な予算配分が図られていることは、教育の町開成にふさわしい事業であると思えます。

町民が安心して、安全な生活を営むことが最重要課題であります、地域防災力の向上、地域防犯力向上事業の積極的取り組みとなっております。

町民主体型の共助に視点を置いた計画は、町民ニーズに対応する施策との評価ができます。中でも地域の防災リーダー育成事業には、大いに期待するものであります。

しかし、まちづくりへ向けた施策としては、コミュニティ施策管理事業の助成や、南部土地区画整理事業による都市計画道路、山北小田原開成線、（仮称）酒匂川2号橋の完成による供用開始が予定されており、しっかりと進捗管理を願うものであります。

一方、老朽化が進む町道改修、橋りょう調査は町民の生活に直結するものでありますので、十分な配慮が必要と思えます。

環境美事業の一環として、グリーンリサイクルセンターの熟成槽建設に際しては、投資に見合うような販売経路の拡大や、製品のPRを行うことで、経営回復へ向けた、財政シミュレーションが図られるよう指導すべきであります。

平成25年度は、開成町第五次総合計画のスタートの年であり、明るい未来に向

けて、人と自然が輝く町開成を目指し、町内企業等にトップセールスを行い、互いに情報交換を行うことで、信頼関係の構築を努められることを望みます。

そして、町長の思い、日本一元気な開成、日本一きれいな開成、日本一健康な開成を目指し、健全な行政運営を遂行されることを願い、賛成の立場からの討論いたします。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

ほかにございますか。

町長。まだ、討論の時間ですので、ちょっとお待ちください。

ほかに討論ございませんか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

それでは、討論が終わりましたので、ここで採決いたします。

本案に対する予算特別委員会委員長の報告は、可決であります。

委員長報告のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

（起立多数）

○議長（茅沼隆文）

起立多数によって、可決いたしました。

町長のコメントは、後ほどいただきます。

次に議案第26号 平成25年度開成町国民健康保険特別会計予算になります。

討論を省略して、採決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

ご異議なしと認め、採決いたします。予算特別委員会委員長の報告は可決であります。委員長報告のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

（起立多数）

○議長（茅沼隆文）

起立多数によって可決いたしました。

続いて、議案第27号 平成25年度開成町下水道事業特別会計予算になります。

討論を省略して、採決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

ご異議なしと認め、採決いたします。予算特別委員会委員長の報告は可決であります。委員長報告のとおり、可決することに賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（茅沼隆文）

起立全員によって、可決いたしました。

続いて、議案第28号 平成25年度開成町介護保険事業特別会計予算になりま

す。討論を省略して、採決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という者多数)

○議長(茅沼隆文)

ご異議なしと認め、採決いたします。予算特別委員会委員長の報告は可決であります。委員長報告のとおり、可決することに賛成の方の起立を求めます。

(起立全員)

○議長(茅沼隆文)

起立全員によって、可決いたしました。

続いて、議案第29号 平成25年度開成町給食事業特別会計予算になります。討論を省略して、採決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という者多数)

○議長(茅沼隆文)

ご異議なしと認め、採決いたします。予算特別委員会委員長の報告は可決であります。委員長報告のとおり、可決することに賛成の方の起立を求めます。

(起立全員)

○議長(茅沼隆文)

起立全員によって、可決いたしました。

続いて、議案第30号 平成25年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算になります。討論を省略して、採決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という者多数)

○議長(茅沼隆文)

ご異議なしと認め、採決いたします。予算特別委員会委員長の報告は可決であります。委員長報告のとおり、可決することに賛成の方の起立を求めます。

(起立全員)

○議長(茅沼隆文)

起立全員によって、可決いたしました。

続いて、議案第31号 平成25年度開成町水道事業会計予算になります。討論を省略して、採決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という者多数)

○議長(茅沼隆文)

ご異議なしと認め、採決いたします。予算特別委員会委員長の報告は可決であります。委員長報告のとおり、可決することに賛成の方の起立を求めます。

(起立全員)

○議長(茅沼隆文)

起立全員によって、可決いたしました。